

2020

コースガイド

日本画コース



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育部

ものを見るという事。本当に見るという事。
全てはそこから始まります。

足元の草、石ころ、風に揺れる木々の梢、不意に飛び去る野鳥たち。
大空、光、水に映る雲の影、遠くから聞こえるささやき声…。
日常、あらゆるものは私たちに何かを示唆し、呼びかけてくれています。
けれど私たちは本当に耳を澄ましているでしょうか。
私たちの眼は、本当にすべてを深く見つめているでしょうか。

絵を描こうと思う時、私たちは初めて本当にものを見ようとします。
そして見れば見るほど、今まで何も見ていなかったことに気付くのです。
自然はどこまで奥深く、謎を秘めていることでしょうか。
私たちはいったいどこからきて、どこへ行こうとしているのでしょうか。
いのちの源へと遡る根本的な問いは、常に「本当に見ること」から始まります。

遠く人類の黎明から、人間はものを表現しようとしてきました。
「描く」という事を始めた頃に使った道具を、今日本画を描いている私たちも同じように使っています。
石や砂、動植物由来の染料、炭、膠、動物の毛で作った筆…。
人間は、それらを使って祈りとともに絵を描き始めました。

今、時代を隔てても、私たちはいずれどこかに去ってゆく存在であることに変わりはありません。そしてだからこそ、やはり絵に、いのちと祈りを込めることができます。「描く」という事は、本来そのような行為なのだと思います。

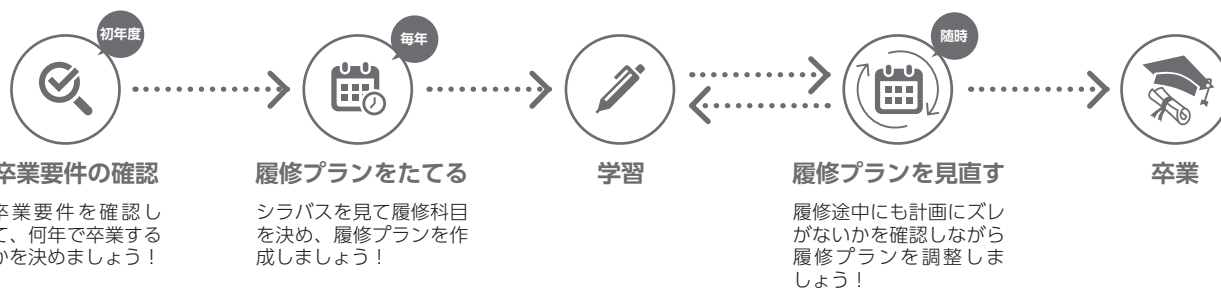
時を、思いを、対象を、そして目の前の道具たちをも愛おしんで、心の眼でものを見つめ、一筆一筆、魂を込めて描いていきましょう。
それぞれの歩幅で、真摯に、謙虚に。そして心から楽しんで。
これは一生続く学びです。
人と比べる必要のない、内側からの学びです。
そして、どんな人とも手を携え、理解しあえる道のりです。
ともに一歩ずつ歩いていきましょう。

目次

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるにあたって……………	2
2. [在校生のみなさんへ]2020年度からの変更事項と注意点……………	5
3. 学習を進めるにあたって……………	6
4. 専門教育科目一覧……………	7
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	8
6. カリキュラムマップ……………	10
7. 履修条件図……………	12
8. スクーリング日程・スクーリングコード一覧……………	13
9. 履修モデル……………	16
10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)……………	19
11. 専門演習スクーリング科目(S)……………	20
12. 全国画材店ガイド……………	23

コースガイドを使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。入学許可後は、『学習ガイド』やシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ]学習をはじめるとにあって

1.ご挨拶

ご入学おめでとうございます。日本画コースへようこそ。

いよいよこれから本格的な日本画の学びが始まります。描きたい絵のイメージがたくさんあると思いますが、それを自分の中でふくよかに熟成させながら、しっかりした基礎を積み上げて充実した作品が描けるように力を養っていきましょう。この冊子には皆さんが効率よく学んで行くために必要な情報を網羅しています。順に眼を通して綿密な学習計画を立てて下さい。日本画の学習は課題の順に学んで頂くことで確実にステップアップできるように設定されています。スクーリングの日程のご事情などで順を違える場合も、できるだけ順に沿うように、またスクーリング科目とテキスト科目をバランスよく織り交ぜながら履修して下さい。

2.「新入生ガイダンス」に出席しよう

4、5月に京都と東京で開催する新入生ガイダンスでは、学習のすすめ方やコース専門演習科目の履修計画の立て方についてガイダンスを行います。入学後の自宅学習のリズムをつかむためにも、受講されることをお勧めします。

3.「履修モデル」を参考に履修計画をたてよう

まず始めに、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」で卒業要件を確認しましょう。

次に何年かけて卒業するかを考えてみましょう。それにより、1年間で修得する単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことを念頭におきながら、卒業までの履修計画を作成されることをお勧めします。

卒業する為には、コース専門教育科目だけではなく、学部共通専門教育科目等の履修が必要です。

本書pp.16～18の「履修モデル」は、最短の年数で卒業されると仮定した場合の年間学習モデルを紹介しています。入学年次や資格取得の有無、学びのペースによって履修内容は異なりますので、各自該当する履修モデルをもとに履修計画を立ててください。計画に狂いが生じた場合は随時計画を見直しましょう。

4.卒業へ向けて「卒業制作着手要件」のクリアを目指そう

卒業制作に着手するためには、卒業制作に着手する前年度までに「卒業制作着手要件」

(▶p.8参照)を満たしていることが必要となります。

最短での卒業を目指される場合は、少なくとも以下の条件を満たしておく必要があります。

1年次入学生の場合 : 2022年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

3年次編入学生の場合 : 2020年度末までに「卒業制作着手要件」を満たすこと。

卒業制作履修のためには、着手要件のみではなく、着手の前年度までに卒業制作のための写生などの準備が必要です。構想段階でも、学習相談などを活用してください。

5.学習支援を利用しよう

・学習に関する質問 (▶『学習ガイド2020』 pp.118～122参照)

自宅学習で困ったことや迷うことがあったら、メール・FAX・郵送いずれかの方法で質問して下さい。課題や学習に関しての相談など、本学では常時受け付けています。

・学習相談会について

東京外苑キャンパスにおいての相談日も「雲母」に掲載されますのでご確認の上ご利用ください。

6.3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）[異分野]の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。ただし科目によっては履修の前提条件がある場合がありますし、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。事情が許すならば2年間という期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

「airU (エア・ユー)」マイページの使い方

PCを用いなくても学習は可能です。ですが、もし、Web環境の整ったPCやタブレット端末、スマートフォンをお持ちなら、さらに便利に学習をしていただけます。

7.まずは「airUマイページ」にアクセスしよう

airUマイページは学習を行うページであり、学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えています。シラバス等の閲覧はもちろん、成績の確認も行えます。通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。問題なくairUを利用するには、システムの要件を満たしている必要があります。（▶airUシステム要件の詳細は『学習ガイド2020』 p.92参照）

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

▶airUマイページでできることの詳細は『学習ガイド2020』 pp.15～16参照。

airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

airU マイページを使ってみよう

日本画コースでは、コース専門教育科目の学習をサポートするべく動画教材や参考作品を充実させています。これらは、airUマイページ内にある airU シラバスから閲覧可能ですので、是非アクセスして活用してみてください。PCやスマートフォン等をお持ちでない場合は「学習に関する質問」（▶『学習ガイド2020』 pp.118～122）でご相談ください。

airUシラバス、動画教材や参考作品の閲覧のしかた

①airU マイページにログインすると、以下のような画面が表示されます。その中にある「カリキュラム一覧(シラバス)」をクリックしてください。



②「カリキュラム一覧(シラバス)」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から、確認したい科目をクリックして選択してください。airUシラバスが閲覧できます。



区分	科目名	単位数	開講期	状況
TW	日本画演習 I - 1	2	通年	未履修
TW	日本画演習 I - 2	2	通年	未履修
S	日本画 I - 1 初年専生	1	通年	単位修得済

③カリキュラム一覧の「コース専門教育科目」の中から確認したい科目をクリックすると、以下のような画面が表示されます。ここではテキスト科目「日本画演習 I-1」をクリックしてみました。

画面の上部には、その科目の内容が左から項目ごとに学習の流れに沿って表示されていますので、すべてをよく確認しながら課題に取り組んでください。テキスト科目の動画教材や参考作品を閲覧したい場合は、その中にある「テキスト・教材学習」をクリックしてください。

※スクーリング科目の場合は、「事前課題」をクリックしてください。表示される画面の基本的な構造は同じですが、スクーリング科目の動画教材や参考作品は「事前課題」から確認できます。



テキスト・教材学習
動画教材や参考作品を確認することができます。テキスト科目には作品第1課題と作品第2課題があるので、各課題ごとに確認してください。

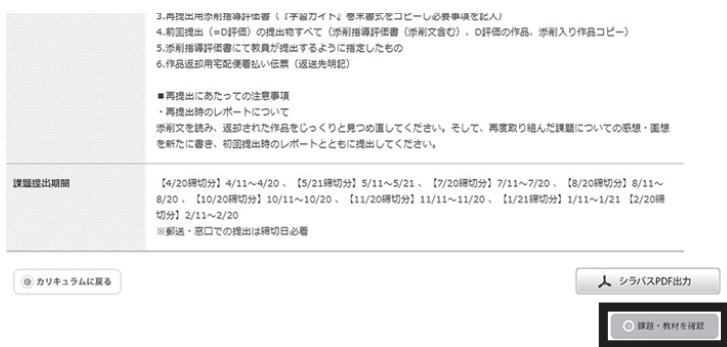
④「テキスト・教材学習」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。画面の上部に「1」、「2」…と表示される場合には、複数ページに分けられて課題の動画教材や参考作品が収められていますので、すべてをよく確認して課題に取り組んでください。画面下にスクロールしていくと、動画教材や参考作品が一覧になって表示されます。閲覧したいものを一つずつクリックしてください。



複数ページに分けられて動画教材や参考作品が収められている場合があります。「1」から順にクリックし、選択してください。

一つずつクリックして閲覧してください。

⑤配当年次に達していない科目、および受講許可がでないスクーリング科目の場合は公開されません。ただし、科目により一部の動画教材や参考作品は、画面右下の「課題・教材を確認」をクリックすると閲覧可能になる場合があります。



課題・教材を確認
資料を確認したいが画面に表示されないという場合には、このオレンジ色のアイコンをクリックしてみてください。

airUシラバスの資料教材一覧表

スクーリング科目やテキスト科目の各動画教材や参考作品等、各科目に格納されている資料教材は、下記より、一覧で確認できます。

airUマイページ>教材ボックス>その他教材

2. [在校生のみなさんへ]2020年度からの変更事項と注意点

2020年度からの日本画コースの学習における大きな変更点を以下に記載します。その他にも変更点はありますので『学習ガイド2020』p.17もあわせて確認してください。

1. 「履修の前提条件」の変更（3年次スクーリング科目）

「日本画V-1～3（人物）」「日本画V-4～6（風景）」の履修の前提条件が「日本画演習Ⅱ-1」合格のみになります。人物または風景の選択、および写生から制作の順番に履修ができない場合は「日本画V-1～6」全ての中から3科目を選択することが可能になりますが、できる限り「日本画V-1～3（人物）」または「日本画V-4～6（風景）」を選択し、順番に履修することを推奨します。

2. 3年次スクーリング科目7単位以上の履修について

現在、日本画コースを含む特定のコースでは、コース専門教育科目3年次スクーリング選択必修科目に限り、6単位合格後に7単位以上の履修を受け付けていますが、本制度は2021年度に廃止になります。7単位以上の履修を希望される方は、2020年度中に履修するように取り組んでください。

3. 3年次スクーリング科目7単位以上の申し込み方法について

2020年度より、3年次スクーリング選択必修科目の申し込みは、他コースと合わせ、追加募集申込期間に郵送・窓口で受け付けます。詳細は『学習ガイド』p.57をご確認ください。

4. 学部共通専門教育科目「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」について

2020年度入学生より、学部共通専門教育科目「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」が卒業要件からはずれます。ただし、2019年度以前入学生は、卒業要件に含まれていますので必ず履修するようにしてください。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、『学習ガイド』もあわせて参照してください。

1. 履修形態

▶『学習ガイド』pp.11～13参照

通信教育部における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。

本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験がある科目	対面授業
	S	スクーリング科目	対面授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

▶『学習ガイド』p.11、pp.32～64参照

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール	春期			夏期			秋期			冬期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8
TW テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～20	作品 11～20	
TX テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S スクーリング科目		夏期先行募集 16～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2021年度 春期先行募集 3月下旬
	春期追加募集 11～(開講30～5 日前)		夏期追加募集 10～(開講30～5 日前)		秋期追加募集 10～(開講30～5 日前)			冬期追加募集 10～(開講30～5 日前)				
GS 藝術学舎科目		夏季申込 5月初旬～			秋季申込 8月初旬～			冬季申込 11月初旬～				2021年度 春季申込 2月中旬～

・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間は『学習ガイド』pp.41～42を参照してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

3. 課題提出方法

▶『学習ガイド』pp.33～36参照

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育部事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

▶『学習ガイド』pp.40～45参照

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）と対面（京都・東京）で受験できます。なお、レポート課題提出形態によって、受験方法が異なり、airUマイページでレポートを提出した場合はWeb受験、郵送・窓口でレポートを提出した場合はWebまたは対面どちらかで受験します。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

▶『学習ガイド』pp.49～56参照

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページまたは郵送・窓口より手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

▶『学習ガイド』p.65参照

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関しては『学習ガイド』pp.70～72を確認してください。

4. 専門教育科目一覽

科目一覽						卒業要件 (注1)					配当年次 (注3)		
科目群	科目区分	科目コード	科目名	サブタイトル	単位数	2020年度以降入学		2019年度以前入学		3年次編入学 [同分野] (注2)			
						1年次入学	3年次編入学 [異分野]	1年次入学	3年次編入学 [異分野]				
						124単位以上 (S科目30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上)	124単位以上 (S科目30単位以上)	62単位以上 (専門52単位以上)	62単位以上 (専門32単位以上)			
門 教 育 科 目	学 部 共 通 専	40501	造形基礎演習1		2	TW			●	●	●	1年次～	
		40502	造形基礎演習2		2	TW			●	●	●		
		合 計					20単位以上	12単位以上	20単位以上	12単位以上	12単位以上		
専 門 教 育 科 目	コ ー ス 専 門 演 習 T 科 目	61601	日本画演習Ⅰ-1		2	TW	●	●	●	●		1年次～	
		61602	日本画演習Ⅰ-2		2	TW	●	●	●	●			
		61603	日本画演習Ⅱ-1		2	TW	●	●	●	●		2年次～	
		61604	日本画演習Ⅱ-2		2	TW	●	●	●	●			
		61605	日本画演習Ⅲ-1		2	TW	●	●	●	●	●	3年次～	
		61606	日本画演習Ⅲ-2		2	TW	●	●	●	●	●		
		61607	日本画演習Ⅳ		4	TX	●	●	●	●	●	4年次	
	合 計					16単位	16単位	16単位	16単位	8単位以上			
	コ ー ス 専 門 演 習 S 科 目	61001	日本画Ⅰ-1	鉛筆写生		1	S	●	●	●	●		1年次～
		61002	日本画Ⅰ-2	色鉛筆写生		1	S	●	●	●	●		
		61017	日本画Ⅰ-3 (注4)	制作の基本		1	S	●(注4)	●(注4)	●(注4)	●(注4)		
		61003	日本画Ⅱ-1	水干・岩絵具 併用による制作		2	S	●	●	●	●		
		61004	日本画Ⅱ-2 *2018年度まで開講	剥製/ 写生と制作		2	S	●	●	●	●		
		61018	日本画Ⅱ-3 (注4)	模写制作		1	S	●(注4)	●(注4)	●(注4)	●(注4)		
		61005	日本画Ⅲ-1	植物写生		1	S	●	●	●	●		2年次～
		61006	日本画Ⅲ-2	植物制作		2	S	●	●	●	●		
		61007	日本画Ⅳ-1	剥製写生		1	S	●	●	●	●		
		61008	日本画Ⅳ-2	剥製制作		2	S	●	●	●	●		
61009		日本画Ⅴ-1	人物写生		2	S						3年次～	
61010		日本画Ⅴ-2	人物制作1		2	S							
61011		日本画Ⅴ-3	人物制作2		2	S							
61012		日本画Ⅴ-4	風景写生		2	S							
61013		日本画Ⅴ-5	風景制作1		2	S							
61014		日本画Ⅴ-6	風景制作2		2	S							
61091		卒業制作			6	S	●	●	●	●	●	4年次	
合 計					24単位	24単位	24単位	24単位	12単位以上				
そ の 他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由を選択。												
総合計						124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上	62単位以上			

TW：テキスト作品科目、TX：テキスト特別科目、S：スクーリング科目

●：必修科目

注1) 2年次編入学生（卒業要件84単位以上）の必修科目は、3年次編入学生（卒業要件62単位以上、専門52単位以上）と同じです。

注2) 同分野の対象者は2016年度入学生まで。卒業要件については「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

注3) 配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。

注4) 2019年度からの新規科目。2018年度まで開講の「日本画Ⅱ-2（2単位）」と新旧対応科目。2018年度までに「日本画Ⅱ-2」を単位修得済みの方は履修不可。

注5) 「Ⅴ-1～3（人物）」または「Ⅴ-4～6（風景）」のいずれか選択を推奨。

3年次スクーリング科目6単位合格後に7単位以上の履修を希望する場合は『学習ガイド2020』p.57をご確認の上、お申し込みください。

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」(下記【1】)を満たせば卒業年度前半のスクーリング「卒業制作(1、2)」が受講でき、秋期スクーリング申込の所定の時期(次項【3】)までに「卒業制作(3~6)の履修の前提条件」(下記【2】)を満たせば「卒業制作(3~6)」が受講できます。受講申込時期は「卒業制作(1、2)」が春期、「卒業制作(3~6)」が秋期(次項【3】)です。

- ・「卒業制作(3~6)の履修の前提条件」を卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくこと、2021年度は卒業制作に集中して取り組めるため、できるだけ早めに前提条件を満たすことをお勧めします。
- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2020年度卒業予定者のスケジュール等は『学習ガイド2020』pp.68~69「10. 卒業判定」を参照してください。

【1】 卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) [異分野]	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) [同分野]	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	-	
	コース専門演習S科目	-	
	その他	(注1)	
	合計	28単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)

- ・2年次編入学生(卒業要件84単位以上)の卒業制作着手要件は、3年次編入学生(卒業要件62単位以上・専門52単位以上)[異分野]と同じです。ただし、合計が50単位以上あること、2年以上在学していること(休学期間を除く)が必要です。

【2】 「卒業制作(3~6)」の履修の前提条件

入学区分(卒業要件)	科目群	科目
全て	コース専門演習T科目	「日本画演習Ⅲ-1」合格済み 「日本画演習Ⅲ-2」合格済み
	コース専門演習S科目	「日本画Ⅴ-1~6」から4単位以上合格済み 「卒業制作1、2」履修中

【3】「卒業制作（3～6）」受講申込時期と履修の前提条件の合格時期

【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作（3～6）」が申込できます。

スクーリング 開催回	申込期間 (郵送は必着、 webは13:00まで)		テキスト課題の合格期日		スクーリングの合格期日	
			日本画演習Ⅲ-1（注3）、 日本画演習Ⅲ-2		日本画Ⅴ-1～6から 4単位以上	卒業制作 1、2
秋期 (10～12月開講)	先行 募集	8/17～8/25 【必着】	7月度（7/20【必着】）までに提出し、 合格すること		7月末までに合格済み	
	追加 募集	9/10～9/29 【必着】	8月度（8/20【必着】）までに提出し、 合格すること		9月末までに合格済み	

- ・卒業制作スクーリングは年に2回の申し込みとなります。春期（4～6月開講）の申込時期に「卒業制作1、2」スクーリングを2つ、秋期（10～12月開講）の申込時期に「卒業制作3～6」スクーリングを4つそれぞれセットで申し込んでください。
- ・卒業制作スクーリングでは原則として定員を設けません。必ず追加募集を行います。

2.卒業要件について

2020年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「日本画演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「日本画演習Ⅳ」（4単位）とスクーリング科目「卒業制作」（6単位）を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

【1】卒業要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上) [異分野]	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	16単位以上	「日本画演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	24単位以上	「日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	
3年次編入学 (62単位以上・ 専門32単位以上) [同分野]	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	【2019年度以前入学】「造形基礎演習1・2」必修 【2020年度以降入学】必修の指定なし
	コース専門演習T科目	8単位以上	「日本画演習Ⅲ・Ⅳ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「日本画Ⅴ」「卒業制作」必修(注2)
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

- ・編入学生の卒業要件については、お手元の「入学許可証・卒業要件通知」をご確認ください。

- (注1)「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目・TW科目（編入学生で必修以外の科目がある場合）、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。
- (注2)「日本画Ⅴ」は「日本画Ⅴ-1～6」から6単位選択必修。「日本画Ⅴ-1～3（人物）」または「日本画Ⅴ-4～6（風景）」のいずれか選択を推奨。
- (注3)「日本画演習Ⅲ-1」は第1課題合格後に第2課題提出可となります。

6. カリキュラムマップ

カリキュラムの内容と関連性

日本画コースのカリキュラムは以下のような体系で構成されています。

1 年次

2 年次

<p>観察力、それを形にする描写力、それを発展させる表現力を身につける</p>	<p>TW 必 日本画演習Ⅰ-1 (第1課題) 鉛筆による細密描写 (第2課題) 色鉛筆による細密描写1</p> <p>TW 必 日本画演習Ⅰ-2 (第1課題) 色鉛筆による細密描写2</p> <p>S 必 日本画Ⅰ-1 鉛筆写生</p> <p>S 必 日本画Ⅰ-2 色鉛筆写生</p>	
<p>日本画の材料の知識や扱い方を修得し、それを自己の制作に活かす</p>	<p>TW 必 日本画演習Ⅰ-2 (第2課題) 色鉛筆写生と 水干・岩絵の具による制作</p> <p>S 必 日本画Ⅰ-3 制作の基本</p> <p>S 必 日本画Ⅱ-1 水干・岩絵具併用による制作</p>	<p>S 必 日本画Ⅲ-2 植物制作</p> <p>S 必 日本画Ⅳ-2 剥製制作</p>
<p>日本画古来の作品に学び、模写を通して材料や技法に関する知識を修得する</p>	<p>S 必 日本画Ⅱ-3 模写制作</p>	
<p>植物・静物などの写生・制作を通して対象から美をつかみ取り、構成力・表現力を養う</p>		<p>TW 必 日本画演習Ⅱ-2 (第1課題) 静物制作のための写生 (第2課題) 水干・岩絵具による静物制作</p> <p>S 必 日本画Ⅲ-1 植物写生</p> <p>S 必 日本画Ⅳ-1 剥製写生</p>
<p>人物を観察して綿密な写生を行い、そこから自己のテーマを持った制作へと発展させる</p>		
<p>風景を現場で写生し、対象との対話を基に大作による自己の絵画表現を考える</p>		<p>TW 必 日本画演習Ⅱ-1 (第1課題) 風景制作のための写生 (第2課題) 水干・岩絵具による風景制作</p>
<p>構想力・表現力を駆使し、総合的な力を結集させて自己の思想や思いのこもった大作に臨む</p>		

3年次

4年次

TW 日本画演習Ⅲ-2
必 (第1課題) 木の写生
 (第2課題) 花または実のついた植物の写生

TW 日本画演習Ⅲ-1
必 (第1課題) 自画像素描および写生
 (第2課題) 上半身自画像制作

S 日本画V-1
選 人物写生

S 日本画V-2
選 人物制作1

S 日本画V-3
選 人物制作2

S 日本画V-4
選 風景写生

S 日本画V-5
選 風景制作1

S 日本画V-6
選 風景制作2

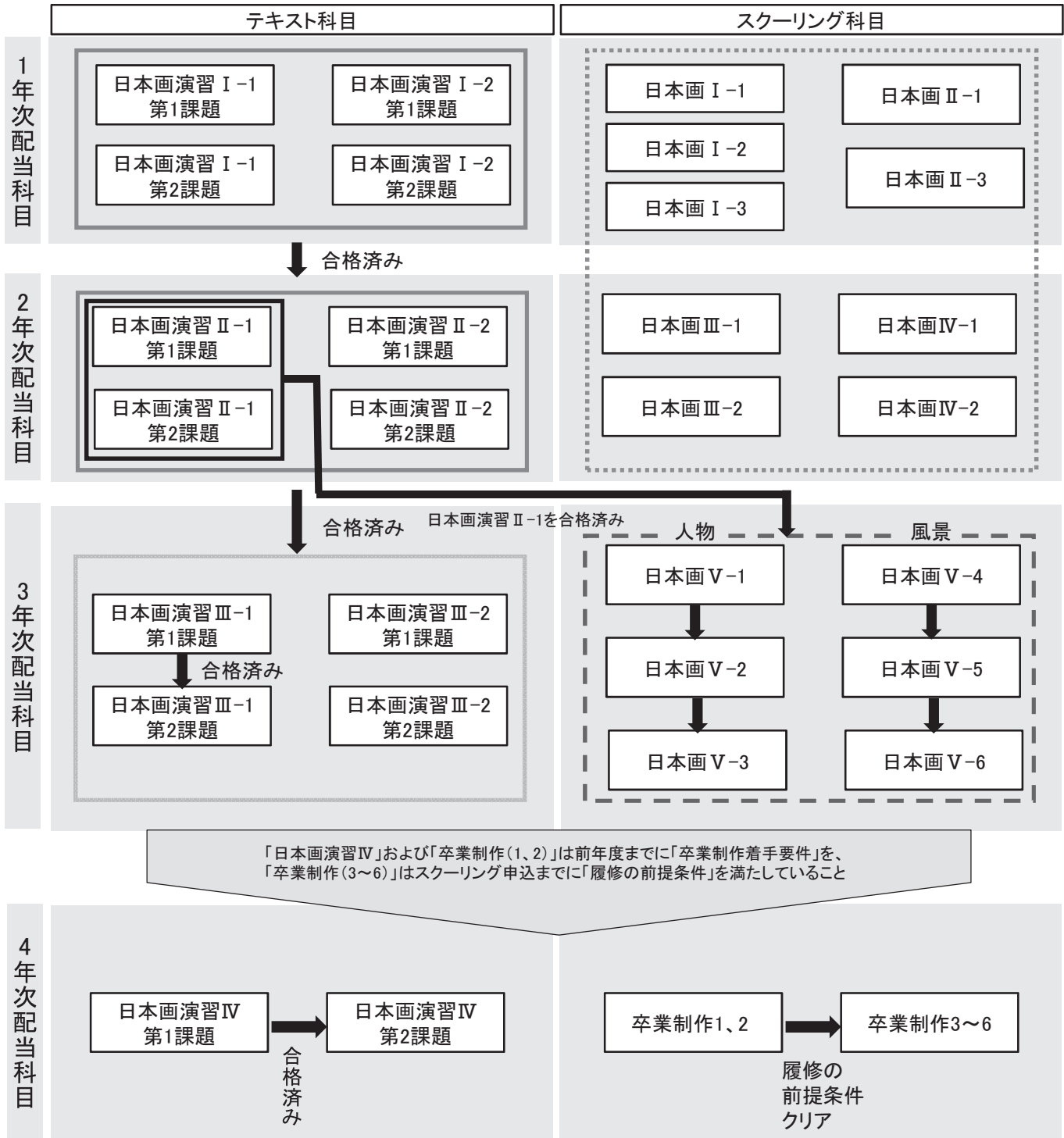
S 卒業制作
必 ※模写制作選択者

TX 日本画演習Ⅳ
必 (第1課題) 40号自由制作の小下絵と作品に関するレポート。
 (第2課題) 卒業制作に関するレポートおよび入学時からの作品をまとめたポートフォリオ

S 卒業制作
必 ※自由制作選択者

7. 履修条件図

コース専門演習テキスト科目、コース専門演習スクーリング科目について、配当年次および履修条件を記載しています。履修条件の詳細は、それぞれシラバスで確認してください。



□ : どちらの科目から履修してもよく、2つの科目に同時に取り組むことができる。また、4課題同時提出も可。

□ : どちらの科目から履修してもよい。ただし、2年次配当科目は1年次配当科目を合格後(見込みも含む)に履修することが望ましい。

□ : どちらの科目から履修してもよく、2つの科目に同時に取り組むことができる。また、3課題同時提出可。

※上記いずれも、科目によっては履修順序に注意事項あり(詳しくはシラバスの科目ページを参照)。

□ : 選択して履修する科目群を示す。「日本画Ⅴ-1~3(人物)」または「日本画Ⅴ-4~6(風景)」のいずれか選択を推奨。

8. スクーリング日程・スクーリングコード一覧

スクーリング申込スケジュールは『学習ガイド2020』p.51をご確認ください

配当 年次	科目名	スクーリング コード	スクーリング名称	単 位 (注1)	会場	開講日程	申込期
1 年次 (6 単位)	日本画 I-1	6100101001	日本画 I-1 (鉛筆写生) a	1	京都	5/16(土)~5/17(日)	春期
		6100101002	日本画 I-1 (鉛筆写生) b	1	東京■	5/16(土)~5/17(日)	春期
		6100101003	日本画 I-1 (鉛筆写生) c	1	京都	6/13(土)~6/14(日)	春期
	日本画 I-2	6100201001	日本画 I-2 (色鉛筆写生) a	1	京都	5/23(土)~5/24(日)	春期
		6100201002	日本画 I-2 (色鉛筆写生) b	1	東京■	5/23(土)~5/24(日)	春期
		6100201003	日本画 I-2 (色鉛筆写生) c	1	京都	6/27(土)~6/28(日)	春期
	日本画 I-3	6101701001	日本画 I-3 (制作の基本) a	1	京都	6/6(土)~6/7(日)	春期
		6101701002	日本画 I-3 (制作の基本) b	1	東京■	6/13(土)~6/14(日)	春期
		6101701003	日本画 I-3 (制作の基本) c	1	京都	7/18(土)~7/19(日)	夏期
	日本画 II-1	6100301001	日本画 II-1(水干・岩絵具併用による制作)a	2	京都	6/20(土)~6/21(日)および 7/4(土)~7/5(日)	春期
		6100301002	日本画 II-1(水干・岩絵具併用による制作)b	2	東京■	6/27(土)~6/28(日)および 7/11(土)~7/12(日)	春期
		6100301003	日本画 II-1(水干・岩絵具併用による制作)c	2	京都	8/8(土)~8/9(日)および 8/22(土)~8/23(日)	夏期
日本画 II-3	6101801001	日本画 II-3 (模写制作) a	1	京都	8/1(土)~8/2(日)	夏期	
	6101801002	日本画 II-3 (模写制作) b	1	京都	8/29(土)~8/30(日)	夏期	
	6101801003	日本画 II-3 (模写制作) c	1	東京■	9/12(土)~9/13(日)	夏期	
2 年次 (6 単位)	日本画 III-1	6100501001	日本画 III-1 (植物写生) a	1	東京■	10/3(土)~10/4(日)	秋期
		6100501002	日本画 III-1 (植物写生) b	1	京都	10/17(土)~10/18(日)	秋期
	日本画 III-2	6100601001	日本画 III-2 (植物制作) a	2	東京■	10/24(土)~10/25(日)および 11/14(土)~11/15(日)	秋期
		6100601002	日本画 III-2 (植物制作) b	2	京都	11/7(土)~11/8(日)および 11/21(土)~11/22(日)	秋期
	日本画 IV-1	6100701001	日本画 IV-1 (剥製写生) a	1	京都	12/19(土)~12/20(日)	秋期
		6100701002	日本画 IV-1 (剥製写生) b	1	東京■	2021/1/9(土)~1/10(日)	冬期
日本画 IV-2	6100801001	日本画 IV-2 (剥製制作) a	2	東京■	2021/1/23(土)~1/24(日)および 2021/2/27(土)~2/28(日)	冬期	
	6100801002	日本画 IV-2 (剥製制作) b	2	京都	2021/1/30(土)~1/31(日)および 2021/2/20(土)~2/21(日)	冬期	
3 年次 (6 単位) (注2)	日本画 V-1	6100901001	日本画 V-1 (人物写生) a	2	東京■	4/25(土)~4/26(日)および 5/4(月・祝)~5/5(火・祝)	春期
		6100901002	日本画 V-1 (人物写生) b	2	京都	10/10(土)~10/11(日)および 10/24(土)~10/25(日)	秋期
	日本画 V-2	6101001001	日本画 V-2 (人物制作1) a	2	東京■	5/16(土)~5/17(日)および 5/30(土)~5/31(日)	春期
		6101001002	日本画 V-2 (人物制作1) b	2	京都	11/21(土)~11/22(日)および 12/12(土)~12/13(日)	秋期
	日本画 V-3	6101101001	日本画 V-3 (人物制作2) a	2	東京■	6/20(土)~6/21(日)および 7/4(土)~7/5(日)	春期
		6101101002	日本画 V-3 (人物制作2) b	2	京都	2021/1/9(土)~1/10(日)および 2021/2/20(土)~2/21(日)	冬期
	日本画 V-4	6101201001	日本画 V-4 (風景写生)	2	京都	5/16(土)~5/17(日)および 5/23(土)~5/24(日)	春期
	日本画 V-5	6101301001	日本画 V-5 (風景制作1)	2	京都	6/20(土)~6/21(日)および 7/18(土)~7/19(日)	春期
	日本画 V-6	6101401001	日本画 V-6 (風景制作2)	2	京都	8/8(土)~8/9(日)および 9/5(土)~9/6(日)	夏期
	4 年次 (6 単位)	卒業制作 (6単位 一括認定)	6109101001	卒業制作1a	1	京都	4/25(土)~4/26(日)
6109101002			卒業制作1b	1	東京■	5/2(土)~5/3(日)	
6109102001			卒業制作2a	1	京都	7/11(土)~7/12(日)	
6109102002			卒業制作2b	1	東京■	8/15(土)~8/16(日)	秋期 (注4)
6109103001			卒業制作3a	1	京都	10/3(土)~10/4(日)	
6109103002			卒業制作3b	1	東京■	10/10(土)~10/11(日)	
6109104001			卒業制作4a	1	京都	11/14(土)~11/15(日)	
6109104002			卒業制作4b	1	東京■	11/21(土)~11/22(日)	
6109105001			卒業制作5a	1	京都	12/5(土)~12/6(日)	
6109105002			卒業制作5b	1	東京■	12/19(土)~12/20(日)	
6109106001			卒業制作6a	1	京都	2021/1/23(土)~1/24(日)	
6109106002			卒業制作6b	1	東京■	2021/2/6(土)~2/7(日)	

(注1) 2単位科目で2日間×2回に分割されている科目は両方受講しなければ単位認定はされません。

(注2) 3年次科目は「日本画V-1~6」から6単位選択必修。「V-1~3 (人物)」または「V-4~6 (風景)」のいずれか選択を推奨。

(注3) 「卒業制作1、2」は春期(4~6月)開講分の申込期間に2科目をまとめて申し込み。

2020年度春期のスクーリング先行申込開始は3月26日(木)13:00からですが、airUからの「卒業制作1、2」の申込は3月28日(土)13:00以降となります。

(注4) 「卒業制作3~6」は秋期(10~12月)開講分の申込期間に4科目をまとめて申し込み。

■2020年度スクーリング日程表 各申込スケジュールは『学習ガイド2020』p.51をご確認ください。

申込期	日程	1年次配当科目		2年次配当科目	
		京都	東京	京都	東京
春期 (4・5・6月) 3/26～3/30	4/25(土)～4/26(日)				
	4/25(土)～4/26(日) および 5/4(月・祝)～5/5(火・祝)				
	5/2(土)～5/3(日)				
	5/16(土)～5/17(日)	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)a	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)b		
	5/16(土)～5/17(日) および 5/23(土)～5/24(日)				
	5/16(土)～5/17(日) および 5/30(土)～5/31(日)				
	5/23(土)～5/24(日)	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)a	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)b		
	6/6(土)～6/7(日)	日本画Ⅰ-3(制作の基本)a			
	6/13(土)～6/14(日)	日本画Ⅰ-1(鉛筆写生)c	日本画Ⅰ-3(制作の基本)b		
	6/20(土)～6/21(日) および 7/4(土)～7/5(日)	日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併 用による制作)a			
	6/20(土)～6/21(日) および 7/18(土)～7/19(日)				
	6/27(土)～6/28(日)	日本画Ⅰ-2(色鉛筆写生)c			
	6/27(土)～6/28(日) および 7/11(土)～7/12(日)		日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併 用による制作)b		
夏期 (7・8・9月) 5/16～5/25	7/11(土)～7/12(日)				
	7/18(土)～7/19(日)	日本画Ⅰ-3(制作の基本)c			
	8/1(土)～8/2(日)	日本画Ⅱ-3(模写制作)a			
	8/8(土)～8/9(日) および 8/22(土)～8/23(日)	日本画Ⅱ-1(水干・岩絵具併 用による制作)c			
	8/8(土)～8/9(日) および 9/5(土)～9/6(日)				
	8/15(土)～8/16(日)				
	8/29(土)～8/30(日)	日本画Ⅱ-3(模写制作)b			
	9/12(土)～9/13(日)		日本画Ⅱ-3(模写制作)c		
秋期 (10・11・12月) 8/17～8/25	10/3(土)～10/4(日)				日本画Ⅲ-1(植物写生)a
	10/10(土)～10/11(日)				
	10/10(土)～10/11(日) および 10/24(土)～10/25(日)				
	10/17(土)～10/18(日)			日本画Ⅲ-1(植物写生)b	
	10/24(土)～10/25(日) および 11/14(土)～11/15(日)				日本画Ⅲ-2(植物制作)a
	11/7(土)～11/8(日) および 11/21(土)～11/22(日)			日本画Ⅲ-2(植物制作)b	
	11/14(土)～11/15(日)				
	11/21(土)～11/22(日)				
	11/21(土)～11/22(日) および 12/12(土)～12/13(日)				
	12/5(土)～12/6(日)				
12/19(土)～12/20(日)			日本画Ⅳ-1(剥製写生)a		
冬期 (1・2・3月) 11/17～11/25	2021/1/9(土)～1/10(日)				日本画Ⅳ-1(剥製写生)b
	2021/1/9(土)～1/10(日) および 2021/2/20(土)～2/21(日)				
	2021/1/23(土)～1/24(日)				
	2021/1/23(土)～1/24(日) および 2021/2/27(土)～2/28(日)				日本画Ⅳ-2(剥製制作)a
	2021/1/30(土)～1/31(日) および 2021/2/20(土)～2/21(日)			日本画Ⅳ-2(剥製制作)b	
	2021/2/6(土)～2/7(日)				

※1「卒業制作1、2」は春期(4～6月)開講分の申込期間にて2科目を同時に申込み。
 ※2「卒業制作3～6」は秋期(10～12月)開講分の申込期間にて4科目を同時に申込み。

3年次配当科目		4年次配当科目		日程
京都	東京	京都	東京	
		卒業制作1a ※1		4/25(土)～4/26(日)
	日本画V-1(人物写生)a			4/25(土)～4/26(日)および 5/4(月・祝)～5/5(火・祝)
			卒業制作1b ※1	5/2(土)～5/3(日)
				5/16(土)～5/17(日)
日本画V-4(風景写生)		airUからの「卒業制作1、2」のスクーリング 先行申込は3月28日(土)13:00～3月30日(月) 13:00の3日間です。		5/16(土)～5/17(日)および 5/23(土)～5/24(日)
	日本画V-2(人物制作1)a			5/16(土)～5/17(日)および 5/30(土)～5/31(日)
				5/23(土)～5/24(日)
				6/6(土)～6/7(日)
				6/13(土)～6/14(日)
	日本画V-3(人物制作2)a			6/20(土)～6/21(日)および 7/4(土)～7/5(日)
日本画V-5(風景制作1)				6/20(土)～6/21(日)および 7/18(土)～7/19(日)
				6/27(土)～6/28(日)
				6/27(土)～6/28(日)および 7/11(土)～7/12(日)
		卒業制作2a ※1		7/11(土)～7/12(日)
				7/18(土)～7/19(日)
				8/1(土)～8/2(日)
				8/8(土)～8/9(日)および 8/22(土)～8/23(日)
日本画V-6(風景制作2)				8/8(土)～8/9(日)および 9/5(土)～9/6(日)
			卒業制作2b ※1	8/15(土)～8/16(日)
				8/29(土)～8/30(日)
				9/12(土)～9/13(日)
		卒業制作3a ※2		10/3(土)～10/4(日)
			卒業制作3b ※2	10/10(土)～10/11(日)
日本画V-1(人物写生)b				10/10(土)～10/11(日)および 10/24(土)～10/25(日)
				10/17(土)～10/18(日)
				10/24(土)～10/25(日)および 11/14(土)～11/15(日)
				11/7(土)～11/8(日)および 11/21(土)～11/22(日)
		卒業制作4a ※2		11/14(土)～11/15(日)
			卒業制作4b ※2	11/21(土)～11/22(日)
日本画V-2(人物制作1)b				11/21(土)～11/22(日)および 12/12(土)～12/13(日)
		卒業制作5a ※2		12/5(土)～12/6(日)
			卒業制作5b ※2	12/19(土)～12/20(日)
				2021/1/9(土)～1/10(日)
日本画V-3(人物制作2)b				2021/1/9(土)～1/10(日)および 2021/2/20(土)～2/21(日)
		卒業制作6a ※2		2021/1/23(土)～1/24(日)
				2021/1/23(土)～1/24(日)および 2021/2/27(土)～2/28(日)
				2021/1/30(土)～1/31(日)および 2021/2/20(土)～2/21(日)
			卒業制作6b ※2	2021/2/6(土)～2/7(日)

9. 履修モデル

1年次入学生履修モデル [卒業要件124単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

4年で学習する場合

1年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
	論述基礎	2	TR						レポート		試験						
	詩学への案内	2	TR									レポート		試験			
	色彩と形	2	TR									レポート		試験			
	伝統芸術基礎(伝統芸能)	1	S												2日間		
	入門デッサン3	1	S					2日間									
	社会学への階段	1	S													2日間	
	学芸基礎講義1	1	GS									GS					
学部共通専門教育科目 (注3)	工芸1	2	TR												レポート	試験	
	美術史(日本)1	2	TR						レポート		試験						
	美術史(日本)2	2	TR												レポート	試験	
	造形基礎演習1	2	TW		●		第1課題										
	造形基礎演習2	2	TW		●				第1課題								
	立体造形演習1	2	TW								第1課題						
	コース 専門演習 T科目	日本画演習 I-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題							
		日本画演習 I-2	2	TW	●	●				第1課題			第2課題				
	コース 専門演習 S科目 (注4)	日本画 I-1	1	S	●	●		2日間									
		日本画 I-2	1	S	●	●		2日間									
		日本画 I-3	1	S	●	●			2日間								
		日本画 II-1	2	S	●	●			2日間	2日間							
	日本画 II-3	1	S	●	●				2日間								
1年目の修得単位数		33															

2年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	世界単位を考える	2	TR				レポート		試験								
	京都を学ぶ	2	TR								レポート		試験				
	日本の憲法	2	TR						レポート		試験						
	文化研究1	2	TR								レポート		試験				
	映画研究への階段	1	S							2日間							
	都市環境への階段	1	S				2日間										
	基礎デッサン4	1	S									2日間					
学部共通専門教育科目 (注3)	デザイン論1	2	TR				レポート		試験								
	デザイン論2	2	TR								レポート		試験				
	写真論1	2	TR											レポート		試験	
	美術史(ヨーロッパ)1	2	TR						レポート		試験						
	美術史(ヨーロッパ)2	2	TR											レポート		試験	
	芸術史講義(日本)1	2	WS				動画視聴	レポート	講評視聴								
	芸術史講義(日本)2	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴						
	コース 専門演習 T科目	日本画演習 II-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題							
		日本画演習 II-2	2	TW	●	●				第1課題			第2課題				
	コース 専門演習 S科目 (注4)	日本画 III-1	1	S	●	●						2日間					
		日本画 III-2	2	S	●	●						2日間×2					
		日本画 IV-1	1	S	●	●							2日間				
日本画 IV-2		2	S	●	●									2日間	2日間		
2年目の修得単位数		35															

3年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)	日本文化論	2	TR									レポート		試験				
	古典日本語	2	TR									レポート		試験				
	哲学への案内	2	TR						レポート		試験							
	日本史への階段	1	S											2日間				
	基礎デッサン5	1	S												2日間			
	自然学への階段	1	S									2日間						
	哲学への階段	1	S									2日間						
専門教育科目 (注3)	美術史(アジア)1	2	TR			レポート		試験										
	美術史(アジア)2	2	TR			レポート		試験										
	芸術理論1	2	TR												レポート		試験	
	色彩表現基礎	2	TW			第1課題												
	形態表現基礎	2	TW										第1課題					
	美術史講義(アジア)1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴					
	美術史講義(アジア)2	2	WS												動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース 専門演習 T科目	日本画演習Ⅲ-1	2	TW	●	●			第1課題				第2課題					
		日本画演習Ⅲ-2	2	TW	●	●	第1課題			第2課題								
	コース 専門演習 S科目 (注4)	日本画V-4	2	S	○	○	2日間×2											
	日本画V-5	2	S	○	○		2日間	2日間										
	日本画V-6	2	S	○	○			2日間	2日間									
3年目の修得単位数		34																

4年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注5)			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)	中国文化論	2	TR			レポート		試験									卒業制作着手者は卒業年度の冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。	
	東北を学ぶ	2	TR						レポート		試験							
	政治学	2	TR			レポート		試験										
	民俗学への階段	1	S											2日間				
	考古学への階段	1	S				2日間											
専門教育科目 (注3)	写真論1	2	TR			レポート		試験										
	美術史(近現代)1	2	TR						レポート		試験							
	立体造形演習2	2	TW							第1課題								
	コース 専門演習 T科目	日本画演習Ⅳ(注6)	4	TX	●	●				第1課題						第2課題		
	コース 専門演習 S科目 (注4)	卒業制作	6	S	●	●	2日間			2日間			2日間	2日間	2日間	2日間		
4年目の修得単位数		24																

4年間の合計・内訳	126 単位 (うち S45 単位)	総合教育科目 : 40単位	コース専門演習T科目: 16単位 コース専門演習S科目: 24単位
		学部共通専門教育科目: 46単位	

- (注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目
S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目 GS: 芸術学舎科目 本書p.6参照
- (注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白=選択科目
- (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
- (注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て京都会場としています。東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。
- (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目(「日本画演習Ⅳ」「卒業制作」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
- (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

3年次編入学生(異分野)履修モデル[卒業要件62単位以上・専門52単位以上]

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

2年で学習する場合

1年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)	ことばと表現	1	TR						レポート		試験							
	論述基礎	2	TR												レポート		試験	
	映画研究への階段	1	S										2日間					
	日本史への階段	1	S								2日間							
	英語1A	1	S								2日間							
	入門デッサン5	1	S										2日間					
学部共通 専門教育 科目 (注3)	写真論1	2	TR									レポート		試験				
	写真論2	2	TR												レポート		試験	
	造形基礎演習1	2	TW		●				第1課題									
	造形基礎演習2	2	TW		●						第1課題							
	芸術史講義(日本)2	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴							
	コース 専門演習 T科目	日本画演習I-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題								
		日本画演習I-2	2	TW	●	●			第1課題	第2課題								
		日本画演習II-1	2	TW	●	●						第1課題				第2課題		
		日本画演習II-2	2	TW	●	●							第1課題			第2課題		
	コース 専門演習 S科目	日本画I-1	1	S	●	●		2日間										
		日本画I-2	1	S	●	●		2日間										
		日本画I-3	1	S	●	●			2日間									
		日本画II-1	2	S	●	●		2日間	2日間									
		日本画II-3	1	S	●	●					2日間							
日本画III-1		1	S	●	●						2日間							
日本画III-2		2	S	●	●						2日間	2日間						
日本画IV-1		1	S	●	●										2日間			
日本画IV-2	2	S	●	●										2日間	2日間			
1年目の修得単位数		37																

2年目																		
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修/選択 (注2) 2020年度 以降入学	必修/選択 (注2) 2019年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期(注5)			
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合教育科目 (注3)	文化研究1	2	TR					レポート		試験								
学部共通 専門教育 科目 (注3)	美術史(日本)1	2	TR						レポート		試験						卒業制作着手者は卒業 年度の冬期に卒業関連 科目以外の履修ができ ません。	
	色彩表現基礎	2	TW								第1課題							
	芸術史講義(日本)1	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴								
	コース 専門演習 T科目	日本画演習III-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題								
		日本画演習III-2	2	TW	●	●		第1課題	第2課題									
		日本画演習IV(注6)	4	TX	●	●				第1課題						第2課題		
	コース 専門演習 S科目	日本画V-1	2	S	○	○		2日間	2日間									
		日本画V-2	2	S	○	○		2日間×2										
日本画V-3		2	S	○	○			2日間	2日間									
卒業制作		6	S	●	●		2日間			2日間		2日間	2日間	2日間		2日間		
2年目の修得単位数		28																

2年間の合計・内訳	65 単位 (うち S32 単位)	総合教育科目 : 9単位	コース専門演習T科目 : 16単位
		学部共通専門教育科目 : 16単位	コース専門演習S科目 : 24単位

- (注1) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目 S: スクーリング科目 WS: ウェブスクーリング科目
 (注2) ●=必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
 ○=選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
 空白=選択科目
 (注3) 選択科目については一例です。シラバスで内容を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。
 (注4) コース専門演習S科目のスクーリングは全て東京会場としています。京都会場を受講される方はスケジュールをご確認ください。
 (注5) 卒業を予定されている年度には、卒業関連科目(「日本画演習IV」「卒業制作I」)以外の科目を冬期(1月~3月)に履修することはできません。
 秋期(10月~12月)までに必ず卒業関連科目以外の科目の履修を完了するよう学習を進めてください。
 (注6) 課題は指定期間に提出します。詳細はシラバス該当ページ参照のこと

10. 専門演習テキスト科目(TW・TX)

コース専門演習テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。

自宅でairUマイページにてairUシラバス、または紙シラバス（有料）を確認の上、参考資料やairUで提供されるWEB教材、参考作品などをもとに学習し作品を完成させます。完成した作品の実物を郵便・窓口へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。

履修順序と前提条件

テキスト科目では、着実にステップアップするために年次ごとに履修の前提条件を設けています。

1年次科目→2年次科目→3年次科目→4年次科目（卒業制作）の順に履修してください。同じ年次の科目どうしでは履修順序はなく同時履修が可能です。

ただし以下のように3年次と4年次の課題で一部に制約がありますのでご注意ください。

<テキスト科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	備考
1年次 [2科目4課題]	なし	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
2年次 [2科目4課題]	1年次テキスト科目を全て合格済みであること	提出順序の制約なし 2科目同時提出可
3年次 [2科目4課題]	2年次テキスト科目を全て合格済みであること	「日本画演習Ⅲ-1」は第1課題合格後、第2課題提出 「日本画演習Ⅲ-2」は提出順序の制約なし 2科目同時提出可
4年次 [1科目2課題]	卒業制作着手要件を満たしていること	第1課題合格後、第2課題提出

単年度履修

1科目に2つの課題が設定されている科目は、どちらか1課題が合格しただけでは単位履修できません。また、テキスト科目においては、同一年度内にすべての課題に合格しなければ合格した課題が無効になり、次年度以降あらためて取り組まなくてはなりません。必ず年度内に2課題とも合格し、単位履修するようにしてください。

提出の受付と返却の目安

・TW科目（1～3年次科目）の提出

4月、5月、7月、8月、10月、11月、1月、2月の11日～20日【必着】※消印不可

・窓口提出は当日窓口受付時間（9：00～17：00）まで

・返却は提出年度の翌月中旬（10日～18日前後）をめどに行います。

各提出期間の締切をわずかでも過ぎてしまった場合は、次の提出期間での受け付けとなりますので注意してください。

11. 専門演習スクーリング科目(S)

コース専門演習スクーリング科目とは、事前学習と2日間（2単位の科目は2日間×2回）の対面授業で構成される科目です。科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。

履修の推奨順序と前提条件

1年次配当科目 2年次配当科目

1年次配当の「日本画Ⅰ-1～Ⅱ-3」と2年次配当の「日本画Ⅲ-1～Ⅳ-2」の9科目は配当年次以外に履修の前提条件はなく、年次が到達していれば自由に受講が可能です。ですが日本画コースの授業内容は基礎から応用へと順に進んでいくステップアップ方式になっている為、可能な限り「日本画Ⅰ-1～Ⅰ-3」を先に受講することが望ましく、カリキュラムは1年次科目→2年次科目→3年次科目の順で受講していただくことを想定しています。

3年次配当科目

- ・履修の前提条件は下表<スクーリング科目の履修の前提条件>を参照。
- ・「V-1～6」の中から6単位選択必修ですが、可能な限り「V-1～3（人物）」または「V-4～6（風景）」のいずれかを選択し、写生から制作の順に受講することが望ましいです。
- ・2020年度に限り「日本画V-1～6」の中から6単位合格後に、7単位目以上を履修することが可能です。その場合も「日本画V-1」あるいは「日本画V-4」から順次受講することが望ましいです。お申し込み方法は『学習ガイド2020』p.57をご確認ください。なお、3年次スクーリング科目7単位以上の履修制度は2021年度に廃止になります。

4年次配当科目

- ・「卒業制作1、2」は前年度までに「卒業制作着手要件」を、「卒業制作3～6」はスクーリング申込までに履修の前提条件を満たしておく必要があります（▶本書pp.8～9参照）。
- ・卒業制作の単位認定は、「卒業制作1～6」合わせて6単位一括認定となります（最終的には「日本画演習Ⅳ」（4単位）と合わせて10単位一括認定となります）。
- ・卒業制作で模写制作を選択する場合は必ず京都会場で申し込みをしてください。
- ・「卒業制作6」で東京会場を選択した場合、卒業制作展のために京都へ作品を送付する必要があり、別途送付費用がかかります。

<スクーリング科目の履修の前提条件>

年次	履修の前提条件	
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	「日本画V-1～6」※	スクーリング申込までに「日本画演習Ⅱ-1」合格済
4年次	卒業制作1、2	昨年度末までに卒業制作着手要件を満たしていること
	卒業制作3～6	スクーリング申込までにp.8の「卒業制作3～6」の履修の前提条件を満たしていること

※「日本画V-1～3（人物）」、「日本画V-4～6（風景）」はいずれか選択を推奨。

①申し込みについて

●申込方法（先行募集）とキャンセル手続き

スクーリング科目は、3ヶ月に1度、開講の前の期に先行募集を行います。airUマイページまたは郵送で申し込んでください。

受講許可が出た後は、キャンセル時期によって10～100%のキャンセル料が発生しますので注意してください。（▶詳細は『学習ガイド2020』pp.50～56を参照）

●追加募集申込

定員に空きが無い場合は追加募集されません。必修科目など、受講予定の科目は必ず先行募集で申し込んでください。ただし、キャンセル等が出て定員に空きがでた場合に募集が再開されることもあります。追加募集の有無は、airUマイページで確認できます。

②スクーリングへ向けての準備

●スクーリング授業は自宅学習として取り組む事前課題、授業出席と制作課題による総合評価となります。事前課題はシラバスの「課題」欄に記載されていますので、各自スクーリング授業前に必ず確認し、事前課題に取り組み、スクーリング初日、または指定されている日に持参してください。シラバス巻末の事前課題資料、またはairUマイページの各科目ページに、動画教材や参考資料がある科目もあります。（▶本書pp.3～4を参照）尚、スクーリング授業は、事前課題が完了していることを前提で進めていきます。取り組んでいない場合や指定の持参物が準備できていない場合は、原則として単位認定の対象となりません。

●持参物・使用教材

スクーリング科目を受講する際、道具や教材を持参いただきます。各スクーリング科目のシラバス「『受講にあたって』●持参物」に記載していますので受講日までに確認し、用意してください。

③スクーリング受講成立条件と欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目では「事前課題の取り組み」「2日間（全10講時）の出席」「作品・成果物の完成と発表」が認められることで受講が成立します。

欠席はもちろんですが、遅刻、早退、中抜けも、確認された段階で欠席扱いとなり単位認定対象から外れますので十分に注意してください。当日、やむを得ず欠席の場合は速やかに連絡をしてください。（▶『学習ガイド2020』p.57を参照）

パネル・紙のサイズについて

主なパネルの号数規格、紙の規格サイズは、以下の通りです。

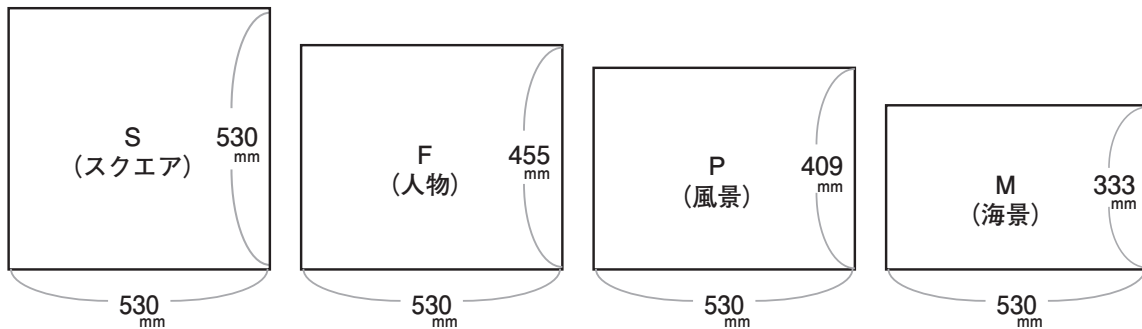
●パネルの号数規格

号数	日本サイズ (mm)			
	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
0	180	140	120	100
1	220	160	140	120
SM	227	158		
2	240	190	160	140
3	273	220	190	160
4	333	242	220	190
5	350	270	240	220
6	410	318	273	242
8	455	380	333	273
10	530	455	410	333
12	606	500	455	410
15	652	530	500	455
20	727	606	530	500

号数	日本サイズ (mm)			
	長辺サイズ	F (人物)	P (風景)	M (海景)
25	803	652	606	530
30	910	727	652	606
40	1000	803	727	652
50	1167	910	803	727
60	1303	970	894	803
80	1455	1120	970	894
100	1620	1303	1120	970
120	1940	1303	1120	970
130	1940	1620		
150	2273	1818	1620	1455
200	2590	1940	1818	1620
300	2910	2182	1970	1818
500	3333	2485	2182	1970

- ・F・P・M型とも、各号の長辺サイズは共通。F・P・Mの数値は、各型の短辺サイズ。
- ・S (スクエア) 型は、表記の長辺サイズの正方形パネルです。

●例：10号パネルの種類別サイズ



●画用紙、ケント紙

- ・四ツ切りは382×542mm、ハツ切りは271×382mmが基準サイズとなります。
- ・B2サイズ 515×728mm
- ・B全サイズ 728×1030mm
- ・木炭紙大 500×650mm

●雲肌麻紙など日本画制作用紙のサイズ

三六 (さぶろく) 判 970×1880mm

※この他にも種類があります。詳細はテキスト『基礎から学ぶ日本画』 p.205参照

12. 全国画材店ガイド

研究室調査後に変更・閉店の場合にはご了承ください。

※2019年2月時点

地域	所在	画材店	電話
北海道・東北	小樽市	山岸商店	0134-24-1536
	札幌市中央区	大丸藤井セントラル	011-231-1131
	八戸市	八戸彩画堂	0178-24-4222
	盛岡市	アートショップ彩画堂	019-622-7249
	盛岡市	虹画堂	019-622-8521
	秋田市	秋田彩画堂	018-862-6954
	仙台市若林区	青葉画荘	022-231-4225
	酒田市	彩美堂	0234-22-7819
	山形市	東北芸術工科大学内ショップTUAD STORE	023-674-8860
	山形市	彩画堂	023-623-0336
	福島市	絵工堂	024-522-4539
いわき市	坂本紙店	0246-24-1123	
関東	水戸市	タキタ	029-221-2772
	水戸市	フジタ／小売部	029-231-3331
	宇都宮市	白木屋画材額縁店	028-633-3258
	宇都宮市	上野文具	028-633-6181
	小山市	アートベストリー	0285-23-1361
	足利市	マルニ額縁画材店	0284-42-8311
	前橋市	すいらん画材	027-223-6311
	前橋市	詩季画材	027-224-5196
	茂原市	成美堂	0475-22-2493
	上尾市	岡田絵具店	048-771-0568
	さいたま市浦和区	彩光舎	048-822-9952
	川越市	キムラヤ	049-224-5252
	東京都千代田区	得応軒本店	03-3251-0303
	東京都千代田区	松吉絵具店	03-3294-0941
	東京都新宿区	世界堂新宿本店	03-5379-1111
	東京都中央区	有便堂	03-3241-6504
	東京都文京区	上松大雅堂	03-3821-4689
	東京都文京区	喜屋	03-3831-8688
	東京都台東区	丹青堂 東京店	03-5812-5643
	東京都台東区	金開堂	03-3821-5733
	東京都台東区	心正堂本舗	03-3831-9435
	東京都台東区	田中金華堂	03-3831-1471
	東京都台東区	得応軒	03-3823-4116
	東京都台東区	宮内不朽堂	03-3832-2910
	東京都渋谷区	ウエマツ／日本画材売場	03-3400-5556
	東京都杉並区	林画材	03-3337-6003
横浜市中区	絵具屋三吉	045-641-9318	
中部	新潟市中央区	小菅画材	025-266-2733
	甲府市	みくに画材店	055-252-1614
	長野市	画材マチス	026-235-0737
	松本市	東京堂画材店	0263-32-0028
	浜松市中区	彩画堂	053-454-3854
	名古屋市中村区	石黒五雲堂本店	052-412-7862
	名古屋市中区	丹青堂	052-261-8920
	名古屋市東区	森荘	052-931-1401
	高山市	松華堂文具店	0577-32-1866
	大垣市	加藤画材店	0584-74-6615
	金沢市	かゆう堂	076-242-3769
	金沢市	たち画材金沢店	076-252-7777
	富山市	キレイ堂	076-425-2875
	富山市	彩虹堂	076-422-4167
	福井市	井ザワ画房本店／画材	0776-33-5380

地 域	所 在	画 材 店	電 話
近畿	松阪市	文房閣	0598-21-0800
	京都市左京区	京都芸術大学購買部 ADストア	075-712-5798
	京都市左京区	ボックス画材	075-781-9105
	京都市左京区	博宝堂	075-771-9401
	京都市東山区	エビスヤ画材	075-561-4308
	京都市中京区	後素堂	075-231-0938
	京都市中京区	彩雲堂	075-221-2464
	京都市中京区	放光堂	075-231-0817
	京都市中京区	松吉画材	075-222-1223
	京都市中京区	景雲堂	075-231-1776
	京都市下京区	画箋堂	075-341-3288
	京都市西京区	鴻業堂	075-332-1383
	向日市	ちくさや	075-932-7084
	大阪市中央区	カワチ画材東急ハンズ心斎橋店	06-6252-5802
	大阪市中央区	丹青堂戎橋本店	06-6211-0721
	大阪市天王寺区	三野昭和堂	06-6771-1061
	奈良市	アイボリー画材	0742-23-6356
	和歌山市	ヴィナス画材	073-422-4965
	神戸市中央区	寺井放光堂	078-331-0817
	神戸市中央区	甲南画材	078-231-3715
	西宮市	甲風画苑	0798-67-9174
	芦屋市	三甲画材	0797-34-3330
	明石市	桑の木画材	078-929-0667
姫路市	中井三成堂	079-282-1575	
姫路市	ナカムラ画材	079-285-1641	
四国	高松市	成豊堂	087-851-5941
	徳島市	ミマ画材	088-653-4294
	観音寺市	藤原文具	0875-25-2011
	松山市	文宝堂本店	089-941-5958
	松山市	愛媛画材	089-941-1533
中国	広島市中区	安芸美材	082-221-9766
	広島市中区	ピカソ画房本店	082-241-3934
	三原市	柳井合掌堂	0848-62-7285
	倉吉市	BYヨシダ	0858-23-1611
	松江市	アート・柳屋	0852-21-4558
	松江市	和田翠雲堂	0852-21-3864
	出雲市	米原画材	0853-21-0766
	萩市	萩画房	0838-22-2427
	山口市	ふじた画房	0836-21-3275
	周南市	パレット	0834-21-8022
九州	福岡市中央区	山本文房堂	092-751-4342
	福岡市東区	ミナミ画材	092-673-0323
	佐賀市	武藤美術材料	0952-29-6100
	別府市	明石文昭堂	0977-22-1465
	大分市	キムラヤ画材店	097-532-5056
	熊本市中央区	文林堂本店	096-355-0274
	宮崎市	青木画材店	0985-72-4338
	鹿児島市	集景堂	099-226-3440
	鹿児島市	大谷画材	099-222-2993
那覇市	タナカ画材専門店	098-861-7410	

